

9 食品ロスの削減について

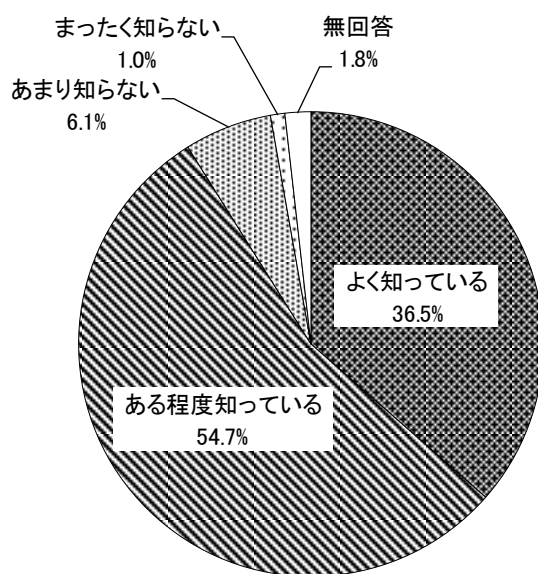
(1) 食品ロスの問題の認知度

問26 あなたは、「食品ロス」(※)の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものをいいます。

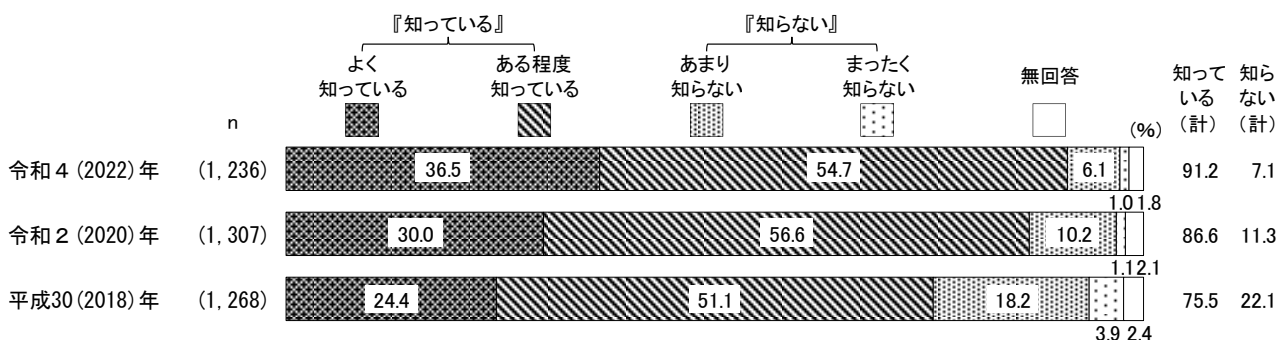
[n=1,236]

1 よく知っている	36.5%	3 あまり知らない	6.1%
2 ある程度知っている	54.7	4 まったく知らない	1.0
		(無回答)	1.8



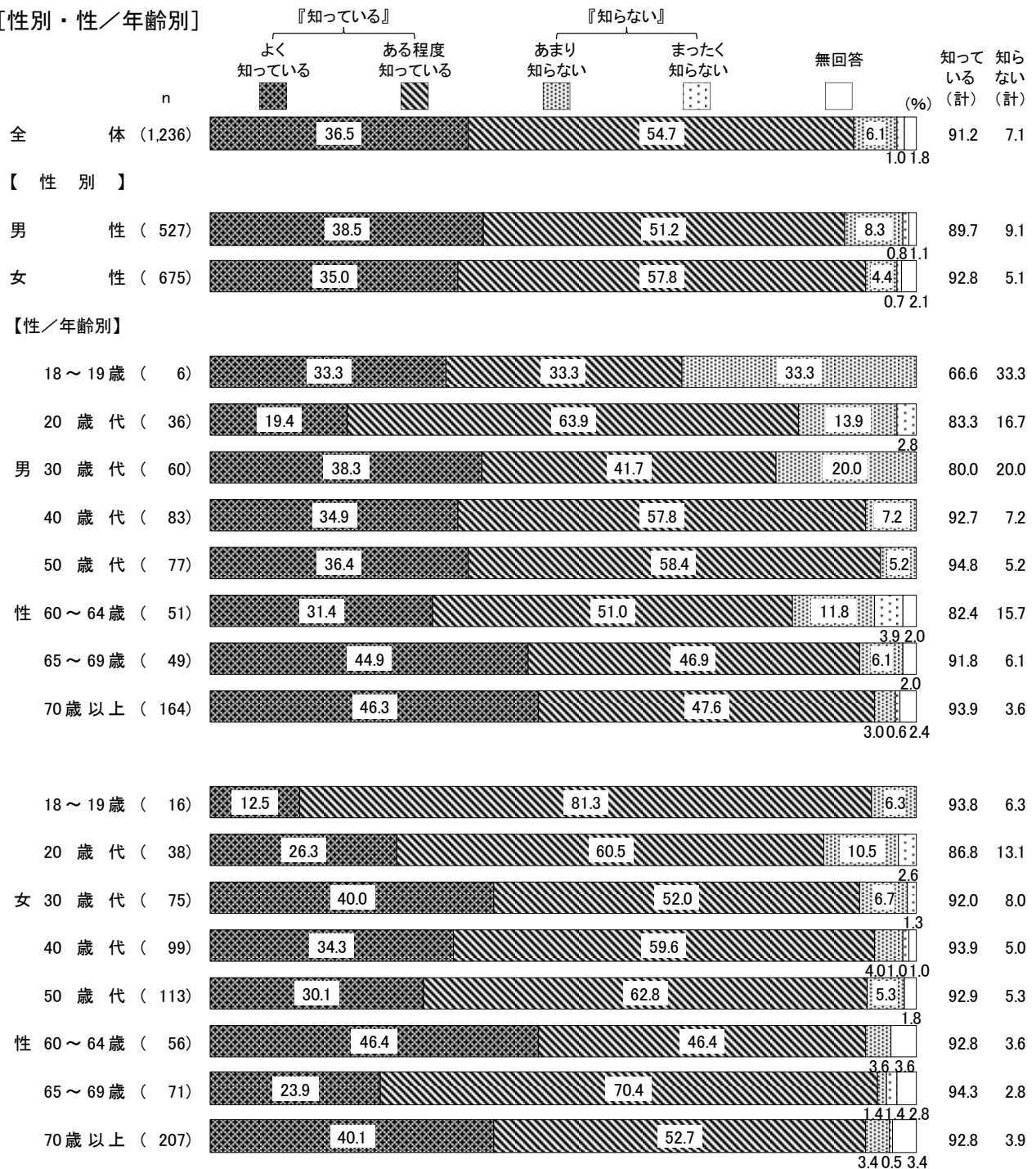
(n=1,236)

全体で見ると、「よく知っている」(36.5%)と「ある程度知っている」(54.7%)の2つを合わせた『知っている』(91.2%)が9割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、『知っている』が前回(令和2(2020)年)より4.6ポイント増加している。

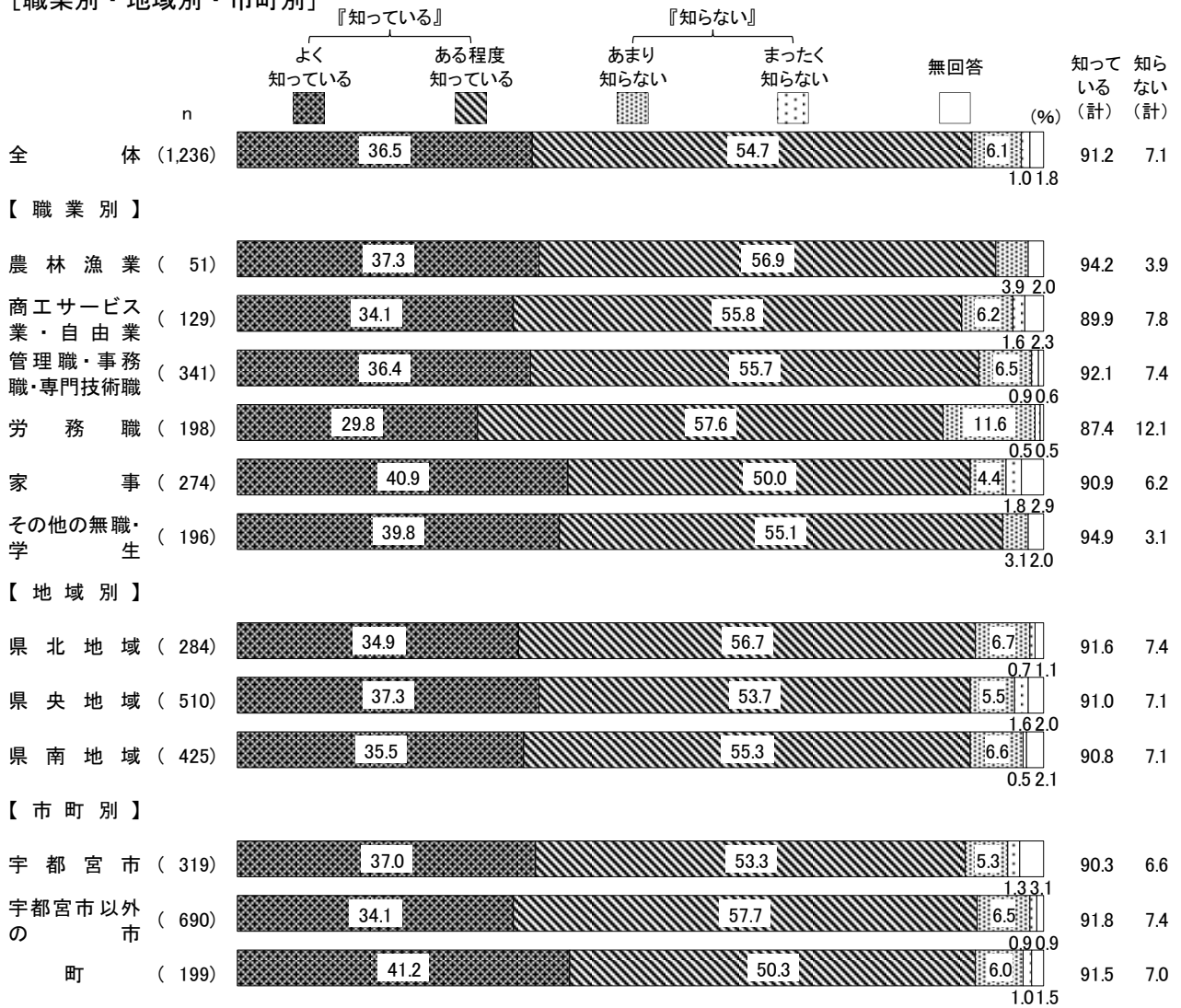
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、『知っている』では〈女性〉(92.8%)が〈男性〉(89.7%)より3.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「よく知っている」では〈女性60～64歳代〉が46.4%、〈男性70歳以上〉が46.3%と高くなっている。一方、『知らない』では〈男性30歳代〉が20.0%、〈男性20歳代〉が16.7%、〈男性60～64歳代〉が15.7%と高くなっている。

【職業別・地域別・市町別】



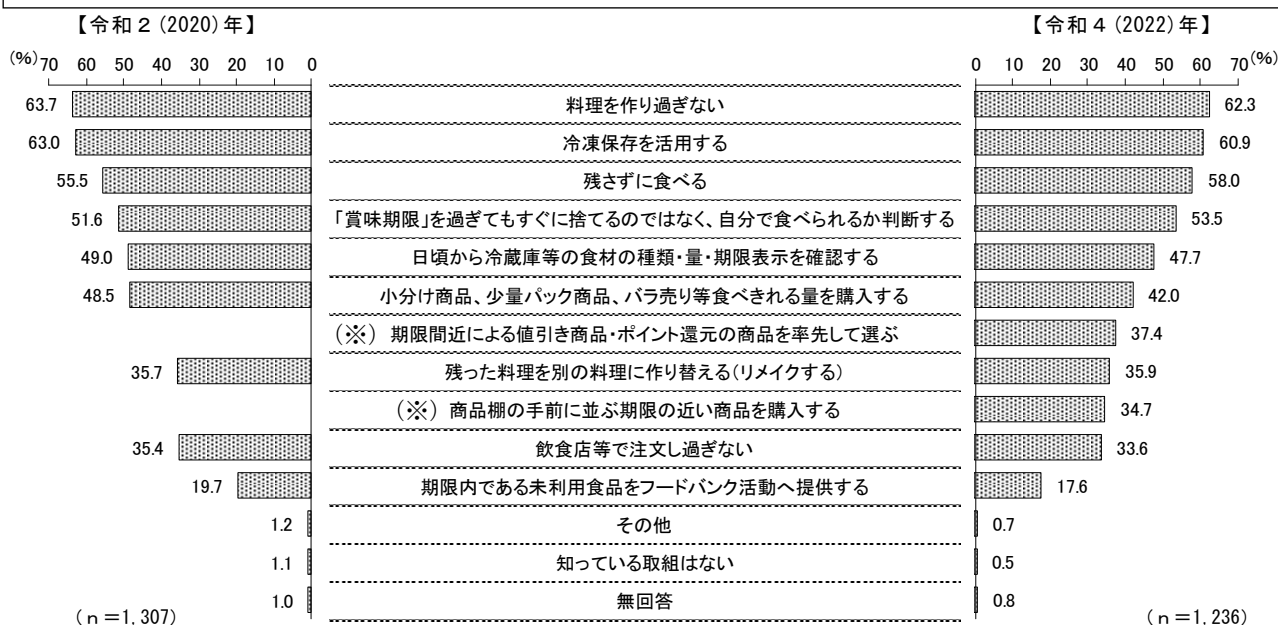
職業別で見ると、『知らない』では〈労務職〉が12.1%と高くなっている。
 地域別・市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 食品ロスが発生させないための取組で知っていること

問27 あなたが知っている、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	料理を作り過ぎない	62.3%
2	残さずに食べる	58.0
3	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	35.9
4	冷凍保存を活用する	60.9
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	47.7
6	「賞味期限」を過ぎてみすぐ捨ててのではなく、自分で食べられるか判断する	53.5
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	42.0
8	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	34.7
9	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	37.4
10	飲食店等で注文し過ぎない	33.6
11	期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する	17.6
12	その他	0.7
13	知っている取組はない	0.5
	(無回答)	0.8



(※)「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」、「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体で見ると、「料理を作り過ぎない」(62.3%)が6割強で最も高く、次いで「冷凍保存を活用する」(60.9%)、「残さずに食べる」(58.0%)、「『賞味期限』を過ぎてみすぐ捨ててのではなく、自分で食べられるか判断する」(53.5%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

【性別・性／年齢別】
（上位10項目）

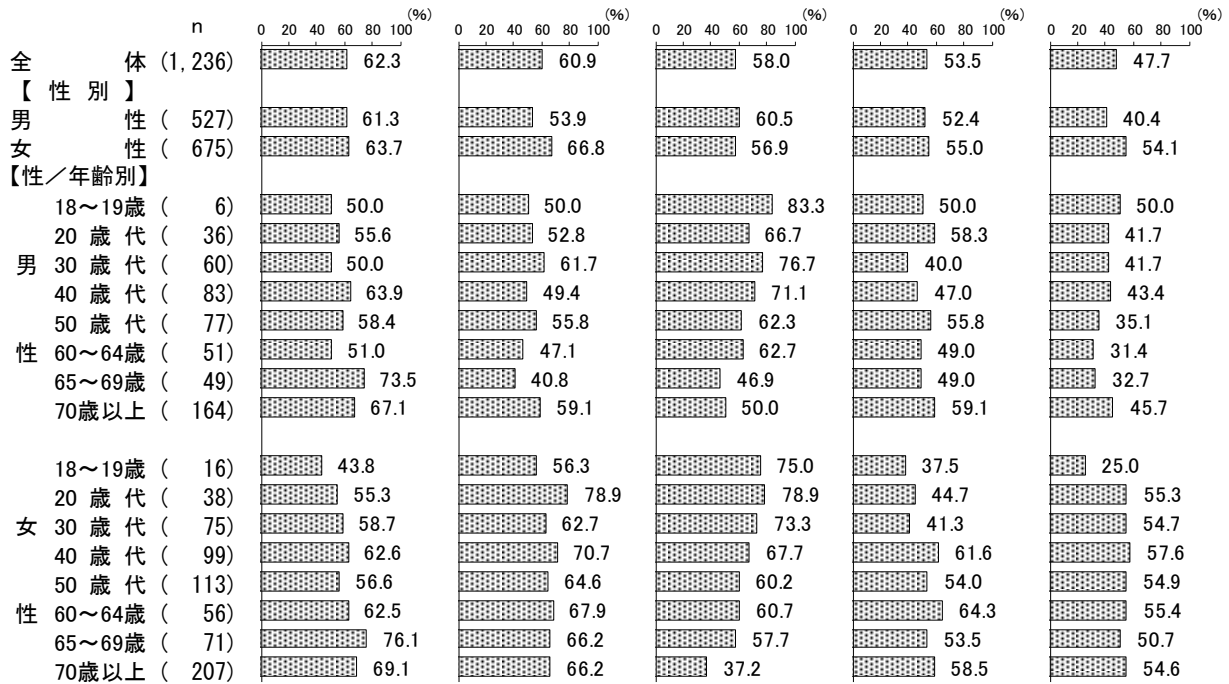
□料理を作り過ぎない

□冷凍保存を活用する

□残さずに食べる

□「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する

□日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する



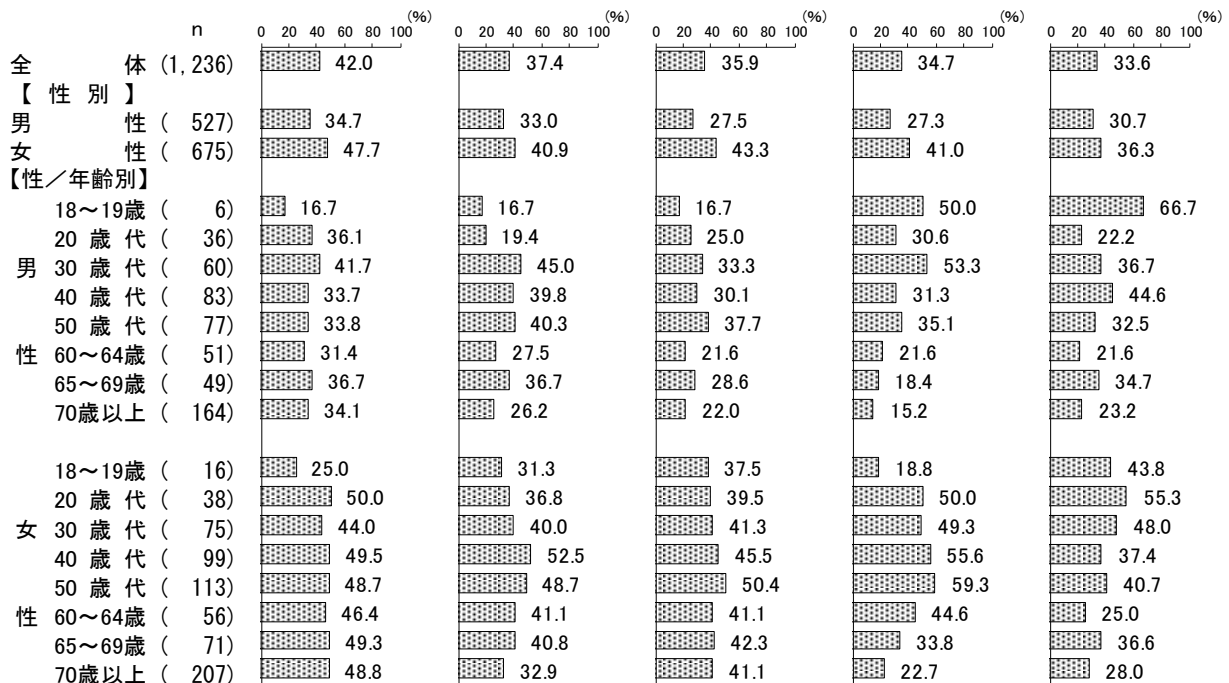
□小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する

□期間間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ

□残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）

□商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する

□飲食店等で注文し過ぎない



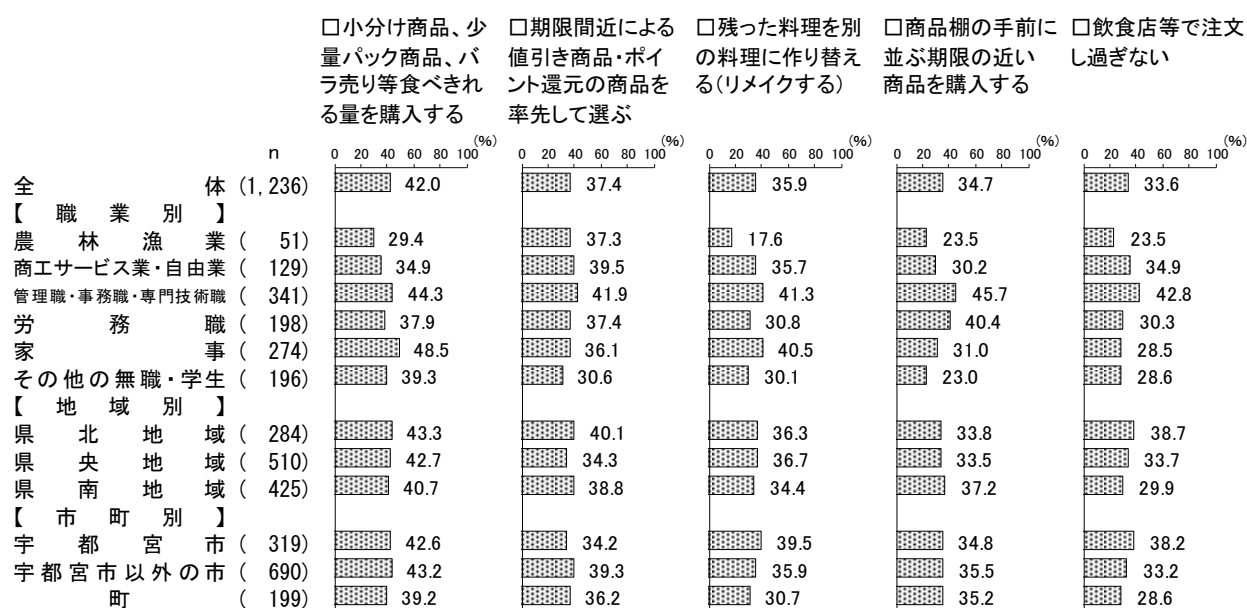
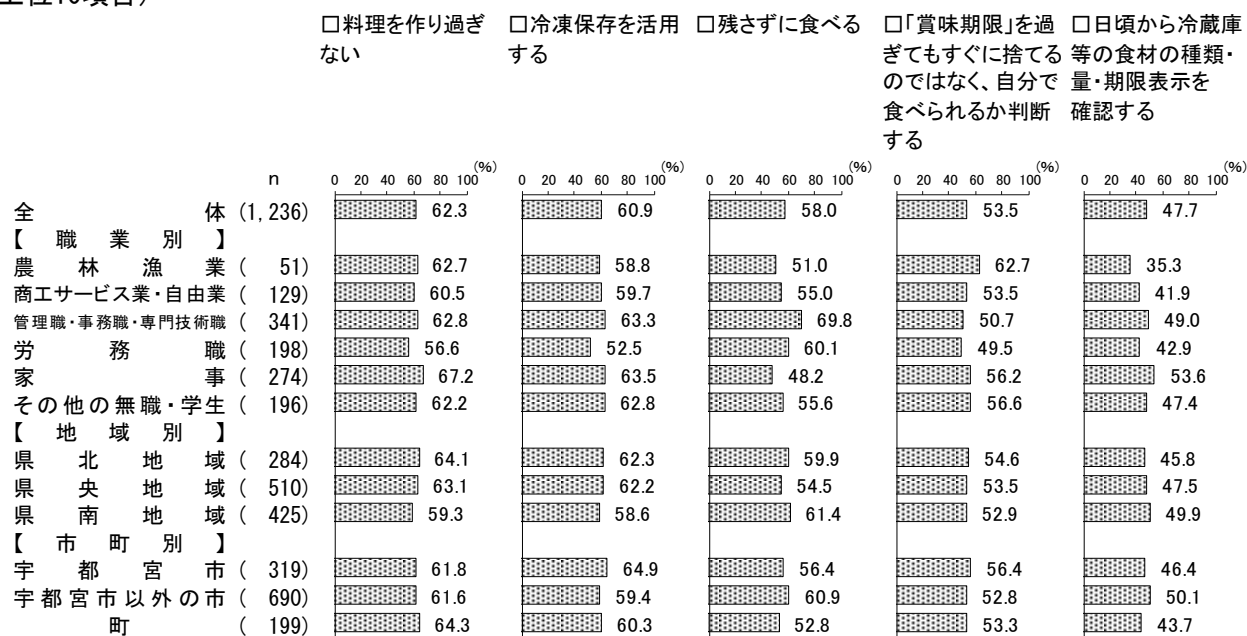
性別で見ると、「残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）」では〈女性〉（43.3%）が〈男性〉（27.5%）より15.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「料理を作り過ぎない」では〈女性65～69歳〉が76.1%、〈男性65～69歳〉が73.5%と高くなっている。「冷凍保存を活用する」では〈女性20歳代〉が78.9%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈女性20歳代〉が78.9%、〈男性30歳代〉が76.7%、〈女性30歳代〉が73.3%と高くなって

いる。「『賞味期限』を過ぎてはすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では〈女性60～64歳〉が64.3%、〈女性40歳代〉が61.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「残さずに食べる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が69.8%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈農林漁業〉が35.3%と低くなっている。「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が45.7%と高くなっている。「飲食店等で注文し過ぎない」では、〈管理職・事務職・専門技術職〉が42.8%と高くなっている。

地域別で見ると、「飲食店等で注文し過ぎない」では、〈県北地域〉が38.7%と高くなっている。

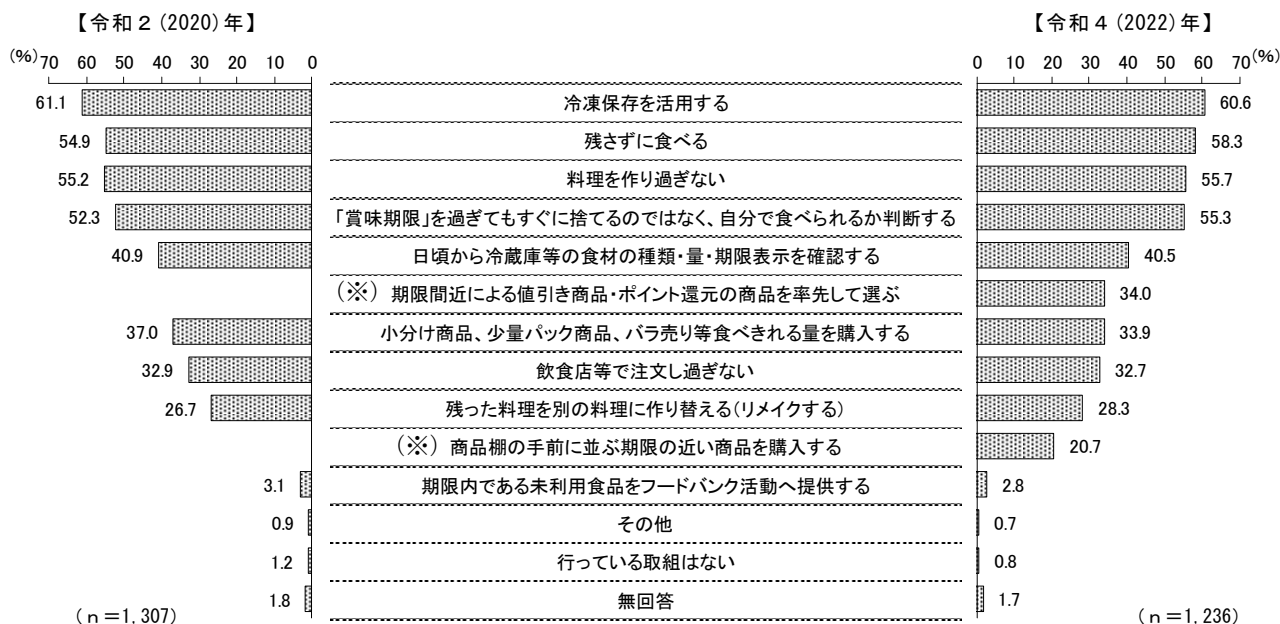
市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 食品ロスが発生させないために現在取り組んでいること

問28 あなたが現在行っている、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	料理を作り過ぎない	55.7%
2	残さずに食べる	58.3
3	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	28.3
4	冷凍保存を活用する	60.6
5	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	40.5
6	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	55.3
7	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	33.9
8	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	20.7
9	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	34.0
10	飲食店等で注文し過ぎない	32.7
11	期限内である未利用食品をフードバンク活動へ提供する	2.8
12	その他	0.7
13	知っている取組はない	0.8
	（無回答）	1.7



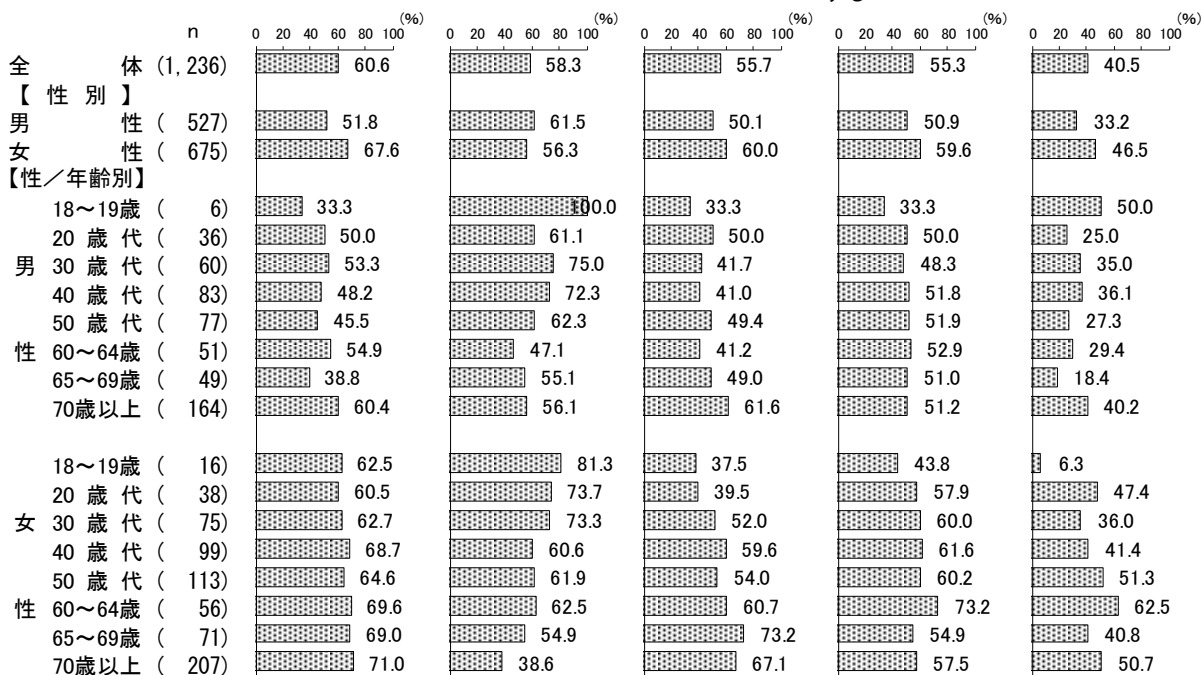
(※) 「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」、「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体で見ると、「冷凍保存を活用する」(60.6%)が約6割で最も高く、次いで「残さずに食べる」(58.3%)、「料理を作り過ぎない」(55.7%)、「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」(55.3%)の順となっている。

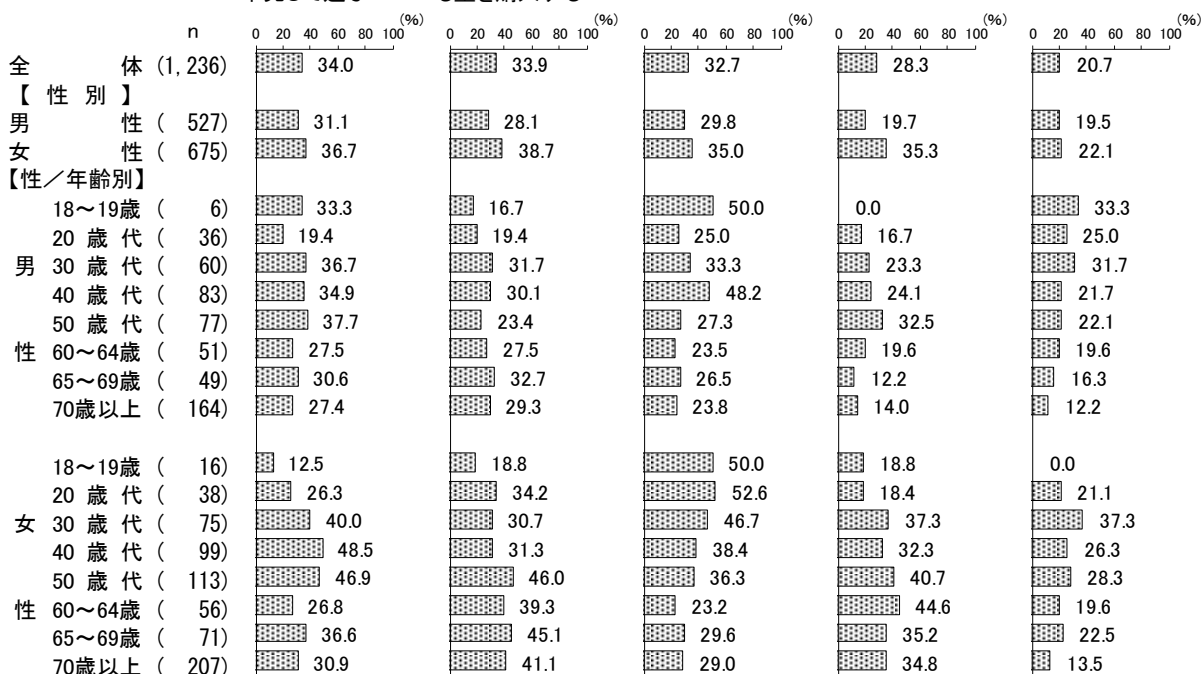
前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]
(上位10項目)

□冷凍保存を活用する □残さずに食べる □料理を作り過ぎない □「賞味期限」を過ぎてでもすぐに捨てる □日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を自分で確認する



□期間間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ □小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する □飲食店等で注文し過ぎない □残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする) □商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する



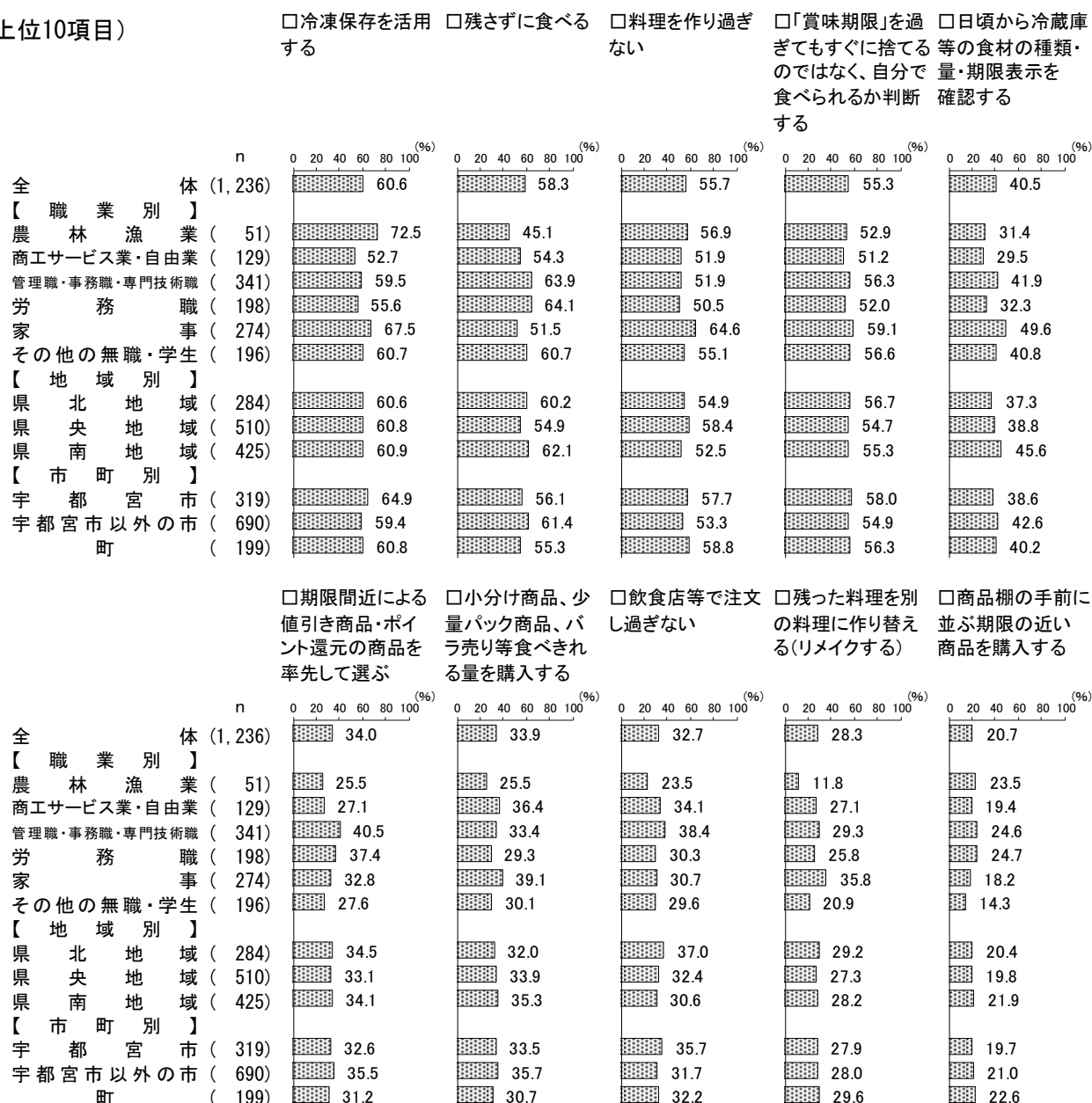
性別で見ると、「冷凍保存を活用する」では〈女性〉(67.6%)が〈男性〉(51.8%)より15.8ポイント高くなっている。「残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)」では〈女性〉(35.3%)が〈男性〉(19.7%)より15.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「冷凍保存を活用する」では〈女性70歳以上〉が71.0%と高くなっている。「残さずに食べる」では〈男性30歳代〉が75.0%、〈女性20歳代〉が73.7%、〈女性30歳代〉が73.3%と高く

なっている。「料理を作り過ぎない」では〈女性65～69歳〉が73.2%、〈女性70歳以上〉が67.1%と高くなっている。「『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では〈女性60～64歳〉が73.2%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈女性60～64歳〉が62.5%と高くなっている。「期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ」では〈女性40歳代〉が48.5%、〈女性50歳代〉が46.9%と高くなっている。「飲食店等で注文し過ぎない」では、〈女性20歳代〉が52.6%、〈男性40歳代〉が48.2%、〈女性30歳代〉が46.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「冷凍保存を活用する」では〈農林漁業〉が72.5%と高くなっている。「料理を作り過ぎない」では〈家事〉が64.6%と高くなっている。「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する」では〈家事〉が49.6%と高くなっている

地域別・市町別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。